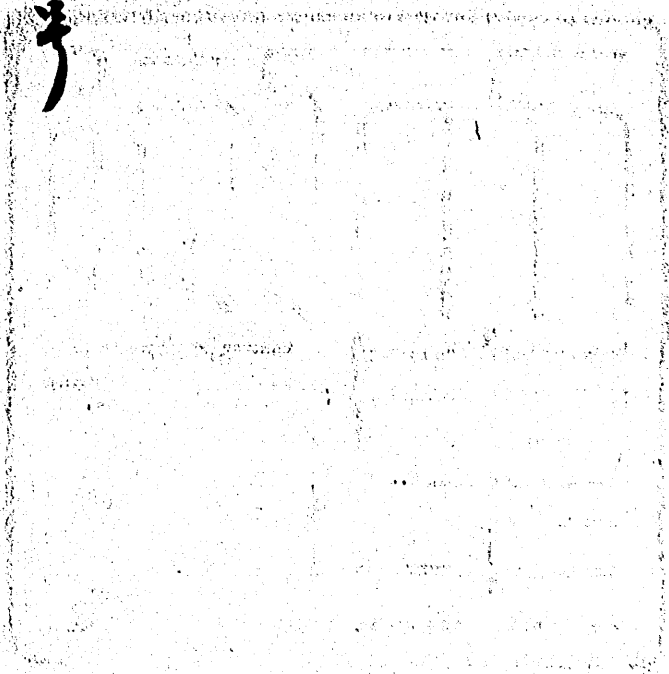
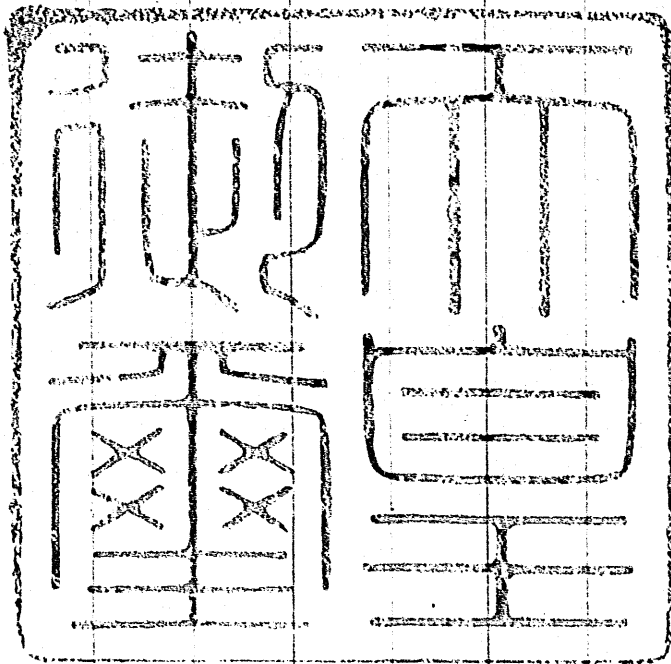


法律第百三十三号



朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル東洋拓殖株式會社法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

天照



大正六年七月二十日

内閣總理大臣伯爵

寺内正毅

内務大臣男爵

後藤新平

外務大臣法學博士

本野一郎

大藏大臣

藤田五計

法律第二十三號

東洋拓殖株式會社法中左ノ通改正ス

第一條 東洋拓殖株式會社ハ朝鮮及外

國ニ於ケル拓殖資金ノ供給其ノ他拓

殖事業ノ經營ヲ目的トスル株式會社

トシ其ノ本店ヲ東京ニ置ク

第三條中日韓兩國人ヲ日本人ニ改ム

第六條中東京ヲ京城奉天ニ改ム

第七條中四人以上ヲ三人以上ニ三人以

上ヲ二人以上ニ改メ副總裁二人ヲ削

ル

第八條中副總裁及理事ヲ理事ニ同條第二項ヲ左ノ如ク改ム

總裁事故アルトキハ理事中一人其ノ職務ヲ代理シ總裁缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

第九條 總裁ハ政府之ヲ命シ其ノ任期ヲ五年トス

理事ハ五十株以上ヲ所有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ二倍ノ候補者ヲ

選舉シ政府其ノ中ヨリ之ヲ命シ其ノ任期ヲ四年トス  
監事ハ三十株以上ヲ所有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ其ノ任期ヲ二年トス

第十條中副總裁ヲ削ル

第十一條 東洋拓殖株式會社ハ左ノ業務ヲ營ムモノトス

- 一 拓殖ノ爲必要ナル資金ノ供給
- 二 拓殖ノ爲必要ナル農業水利事業及土地ノ取得經營處分
- 三 拓殖ノ爲必要ナル移住民ノ募集及分配

四 移住民ノ爲必要ナル建築物ノ築造、賣買  
及貸借

五 移住民又ハ農業者ニ對シ拓殖ノ爲

必要ナル物品ノ供給及其ノ生産ミタル物品ノ分配

六 委託ニ因ル土地ノ經營及管理

七 其ノ他拓殖ノ爲必要ナル事業ノ經營

前項第七號ノ事業ヲ經營シ又ハ外國

ニ於テ前項第一號乃至第六號ノ事

業ヲ營マムトスルトキハ其ノ事業

及地域ニ付豫メ政府ノ認可ヲ受クヘ

シ

第十二條 政府ハ必要ト認ムルトキハ

前條第一項第一號以外ノ業務ニ使用

スル資金ノ額ヲ制限スルコトヲ得

第十三條 第十一條第一項第一號資金供給

ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ行フヘシ

一 移住民ニ對シ二十五年以内ノ年

賦償還又ハ五年以内ノ定期償還

ノ方法ニ依ル移住費ノ貸付

二 生産者ニ對シ其ノ生産物ヲ擔保

トスル一年以内ノ貸付  
 三 三十年以内ノ年賦償還又ハ五年以内ノ定期償還ノ方法ニ依ル不動産鐵道鑛業權其ノ他不動産上ノ權利ヲ擔保トスル貸付  
 四 公共團體又ハ特別ノ法令ニ依リ組織シタル産業ニ關スル組合ニ對シ三十年以内ノ年賦償還又ハ五年以内ノ定期償還ノ方法ニ依ル無擔保貸付

五 農業者二十人以上連帶シテ債務ヲ負フ者ニ對シ五年以内ノ定期償還ノ方法ニ依ル無擔保貸付  
 六 移民取扱業其ノ他拓殖事業ヲ營ムコトヲ目的トスル會社ノ株券又ハ債券ノ應募引受  
 七 移民取扱業其ノ他拓殖事業ヲ營ムコトヲ目的トスル會社ノ株券又ハ債券ヲ質トスル五年以内ノ定期償還ノ方法ニ依ル貸付

八 法令ノ規定ニ依リ設定シタル財  
團其ノ他確實ナル物件ヲ擔保ト  
スル三十年以内ノ年賦償還又ハ  
五年以内ノ定期償還ノ方法ニ依  
ル貸付

前項第二號ノ貸付ヲ爲ス場合ニ於テ  
ハ手形割引ノ方法ニ依ルコトヲ得

第十三條ノ二 東洋拓殖株式會社ハ定  
期預リ金ヲ爲スコトヲ得  
前項ノ定期預リ金ハ前條第一項第二

號又ハ第七號ノ貸付ニ充ツル場合ヲ  
除クノ外之ヲ使用スルコトヲ得ス

第十四條中又ハ動産及但書ヲ削ル

第十五條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ舊債アル場合ニ於テ東洋拓殖株  
式會社ヨリ借入スル新債ヲ以テ舊債  
ヲ償還スル效果ニ依リ新債ノ第一順  
位ノ擔保ト爲ルコトヲ得ヘキトキハ  
此ノ限ニ在ラス

第二十一條中國債證券ノ下ニ若ハ政府

ノ認可ヲ受ケタル有價證券ヲ加フ  
第二十二條ノ二 東洋拓殖株式會社ハ  
日本勸業銀行ノ代理店タルコトヲ得  
東洋拓殖株式會社ハ日本勸業銀行ノ  
貸付ヲ代理シタル場合ニ於テハ日本  
勸業銀行ニ對シ債務者ノ爲ニ債務ノ  
保證ヲ爲スコトヲ得

第三十三條中韓國政府ノ任命シタル監  
理官ト共同シテヲ削ル  
第三十七條ノ二 東洋拓殖株式會社ノ

貸付金ノ利子及割引料ノ最高歩合ハ  
毎營業年度ノ初ニ於テ政府ノ認可ヲ  
受クヘシ

第四十條ノ二 政府ノ所有スル株式ニ  
對シテハ大正六年度以降大正十三年  
度迄ノ營業期ノ利益ノ配當ヲ爲スコ  
トヲ要セス但シ毎營業期ニ於ケル利  
益配當カ政府以外ノ者ノ所有スル株  
式ノ拂込資本額ニ對シ年八分ノ割合  
ノ超過スルトキハ其ノ超過額ハ政府

以外ノ者ノ所有スル株式ニ對スル配  
當ノ割合ニ達スル迄政府ノ所有スル  
株式ニ配當シ尙殘餘アルトキハ平等  
ニ配當スヘシ

第四十一條中「副總裁及副總裁又理事ヲ」理事  
ニ及第四十條ヲ「第四十條又ハ第四十條  
ノ二ニ改メ第三號ヲ左ノ如ク改ム  
三 第十二條又ハ第三十四條ノ規定  
ニ基キ發シタル命令ニ違反シタ  
ルトキ

三ノ二 第十三條第十四條乃至第十  
七條ノ規定ニ違反シ資金ヲ  
供給シタルトキ  
三ノ三 第十三條ノ二第二項ノ規定  
ニ違反シ預リ金ヲ使用シタ  
ルトキ

第四十二條中「副總裁」ヲ削ル  
附則  
本法ハ大正六年十月一日ヨリ之ヲ施行  
ス



本法施行ノ際現ニ理事タル者ノ任期ニ  
關シテハ仍從前ノ例ニ依ル